

新春所感

富士電機製造株式會社 取締役社長 吉村 萬治郎
富士通信機製造株式會社 取締役

光輝ある戦捷の昭和十八年新春を迎ふるに當り、富士時報を通じて讀者各位に所懐の一端を述ぶるは寔に欣幸とする處であります。一昨年十二月八日暴戾なる米英に對し、畏くも宣戰の大詔渙發せらるるや忠勇なる皇軍の將士は間髪を容れず、陸に海に將た空に大御稜威の下赫々たる戦果を挙げられ半歲にして、太平洋及印度洋より米英蘭の勢力を悉く驅逐して大に皇威を宣揚し、茲に大東亞共榮圈の確立を見着々その建設を進められつつあることは誠に感謝感激に堪へざる處であります。

然れども大東亞戦争は第二年目に入り漸く緒戦の域を脱して、本格的段階に進み全く長期戦の様相を呈し眞に食ふか食はるるかの闘争は愈熾烈を極むるに至りました。而してその資源の豊富を誇り強大なる工業力を擁する敵米英は著々軍需産業の充實を計りその生産力の増強を誇稱してゐますが、この間に處して我が社は電氣機械製造會社として、直接間接に戦争目的の完遂に寄與貢獻しつつあるは最も光榮とし且つ幸福に感ずるものであります。

而して我が社は時局柄充分ならざる資材と勞力とを極度に活用して増産に邁進し、國家の要望に應ずるやう努力すると同時に主要資材に代はる代用資材使用の問題の如き、既に夙く先鞭を付けて幾多の經驗を積みたる結果立派に實用に供して居り、*



*又材料特に油、鐵等の節約の見地より簡易なる構造にして而かも能率遙かに優秀なる機器を製出して市場に提供し、以て顧客の多大の満足を得てゐるが如き何れも代用資材の活用に、材料の節約に眞に時代の要求に即したるものとして斯界に貢獻する處甚大なるものありと確信するのであります。

今や我が國は一切を舉げて大東亞戦争完勝の一事に集中してゐますが、我が社は電機製造業者としてその使命の重大なるに鑑み這般倍額増資を斷行して着々工場の擴張を行ひ、以て戦争目的に必要缺くべからざる製品の増産擴充を計りつつあり、又富士通信機製造會社に於ても從來の主製品たる民需品の外軍需關係の方面に於て生産を増強して、戦争目的完遂に寄與しつつあるは誠に欣幸とする處であります。茲に我等は徒らに緒戦の赫々たる戦果に陶醉することなく、さりとて敵側の生産力に眩惑せられて畏怖することなく、又之を過少評價して侮ることなく徹底せる戦争意識に燃えて、強暴なる敵米英撃滅の聖戰に貢獻せんとする旺盛なる意氣を以て戦力の基礎たる生産力の増強に渾身の勢力を傾倒し以て國家の要望に應へると同時に、技術の向上と能率の増進とに精勵努力 技術報國の實を擧げんとする覺悟であります。



*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する
商標または登録商標である場合があります。